

【専門分野Ⅱ】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
成人看護学概論		1	30	1	2
講師	専任教員				
	病院における成人看護の経験を活かし講義・演習により教授する。				
講義目的	成人期にある対象の特徴を理解し、成人各期における保険問題の動向と保健対策の概要を知り、健康の保持増進・疾病予防など看護の役割を理解する。また、健康段階に応じた看護を理解する。				
時	授業内容	授業方法	備考		
1	成人看護学の位置づけと構造 成人期にある人の理解	講義 演習			
2	成人各期の特徴(身体的側面)	演習			
3	成人各期の特徴(精神的・社会的側面)	演習			
4	成人期の生活と健康 大人の健康	講義			
5	成人期に見られる健康問題 生活習慣病 職業に関する健康問題 生活ストレス	講義			
6	生活と健康のための保健・医療・福祉システム ヘルスプロモーション	講義			
7	成人への看護アプローチの基本 看護実践における倫理的判断 意思決定支援	講義			
8	成人への看護アプローチの基本 家族支援	講義	(45分)		
9	中範囲理論とは 成人に対する看護アプローチの基本 大人の学習	講義 演習			
10	成人に対する看護アプローチの基本 集団へのアプローチ(エンパワーメント)	講義 演習			
11	成人に対する看護アプローチの基本 危機理論(急激な健康破綻から回復を促す看護:急性期)	講義 演習			
12	成人に対する看護アプローチの基本 障害受容 (障害を持ちながら生きること・生活することを支援する看護:リハビリ期)	講義 演習			
13	成人に対する看護アプローチの基本 病みの軌跡(健康生活の慢性的な揺らぎの再調整を促す看護:慢性期)	講義 演習			
14	成人に対する看護アプローチの基本 死の受容過程(人生の最期のときを支える看護:終末期)	講義 演習			
15	成人看護学概論まとめ	講義			
16	終講試験		(45分)		
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[1] 成人看護学総論 医学書院				
評価方法	筆記試験				

【専門分野Ⅱ】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
成人看護援助論Ⅰ（呼吸・循環）	1	30	2	1
講師	専任教員・看護師 病院における成人看護（呼吸器・循環器）の経験を活かし講義・演習により教授する。			
講義目的	成人期における呼吸・循環系の主要疾患を取り上げ、健康段階に応じた看護・治療・処置に伴う看護を学ぶ。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	循環器疾患患者の特徴と看護の役割 疾患をもつ患者の看護 弁膜症の患者の看護 手術療法	講義		
2	疾患をもつ患者の看護 虚血性心疾患の患者の看護：胸痛 手術療法 事例による看護過程の展開 急性心筋梗塞患者の看護過程の展開	講義		
3	事例による看護過程の展開 急性心筋梗塞患者の看護過程の展開 関連図	演習		
4	事例による看護過程の展開 急性心筋梗塞患者の看護過程の展開 まとめ	講義		
5	疾患を持つ患者の看護 心不全の患者の看護 血圧異常の患者の看護	講義		
6	疾患を持つ患者の看護 不整脈の患者の看護 検査・治療を受ける患者の看護	講義		
7	心電図検査の実際	演習		
8	呼吸器疾患患者の特徴と看護の役割 呼吸器疾患をもつ患者の看護 気管支喘息	講義		
9	呼吸器疾患をもつ患者の看護 肺結核の患者の看護 血痰・喀血のある患者の看護	講義		
10	呼吸器疾患をもつ患者の看護 肺炎患者の看護 酸素療法・呼吸困難・胸痛のある患者の看護	講義		
11	呼吸器疾患をもつ患者の看護 慢性閉塞性肺疾患患者の看護 薬物療法・在宅酸素療法・咳嗽・喀痰のある患者の看護	講義		
12	呼吸器疾患をもつ患者の看護 肺がん患者の看護 気管支鏡検査を受ける患者の看護	講義		
13	呼吸器疾患を持つ患者の看護 肺がんの治療処置を受ける患者の看護（化学療法 放射線療法 手術療法） 胸腔ドレナージを受ける患者の看護	講義		
14	人工呼吸器装着中の患者の看護	講義	(45分)	
15	呼吸を整える看護基礎技術 呼吸リハビリテーション スクイーミング 呼吸法	演習		
16	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 成人看護学[2]呼吸器 医学書院 系統看護学講座 成人看護学[3]循環器 医学書院 臨床外科看護総論 医学書院 術中／術後の生体反応と急性期看護 医歯薬出版			
評価方法	筆記試験			

【専門分野Ⅱ】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
成人看護援助論Ⅱ(脳神経・神経筋難病・重心)	1	30	2	1
講師	専任教員・看護師 病院における成人看護(脳神経)の経験を活かし、講義および演習により教授する。			
講義目的	成人期における脳神経系・神経筋難病・重心の主要疾病を取り上げ、健康の段階に応じた看護、治療・処置に伴う看護を学ぶ。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	脳神経 脳神経疾患患者の特徴と看護の役割	講義		
2	脳梗塞・脳出血患者の看護	講義		
3	梗塞部位・脳動脈瘤破裂による症状と看護 意識障害 言語障害 運動麻痺	講義		
4	梗塞部位・脳動脈瘤破裂による症状と看護 けいれん 嚥下障害 嚥下障害 頭蓋内圧亢進症状	講義		
5	検査・処置を受ける患者の看護 腰椎穿刺 ・脳血管造影 ・脳室ドレナージ	講義		
6	治療を受ける患者の看護 手術療法 薬物療法 リハビリテーション	講義		
7	硬膜下血腫患者の看護 頭部外傷患者の看護	講義		
8	脳腫瘍 下垂体腺腫患者の看護	講義		
9	事例による看護過程の展開 脳梗塞患者の回復期の看護過程の展開 日常生活の再構築へ向けた援助	演習		
10	脳梗塞患者の回復期の看護過程の展開	演習	(45分)	
11	神経筋難病 神経筋難病疾患患者の特徴と看護の役割 保健医療の動向 看護に求められるもの 筋萎縮性側索硬化症	講義		
12	神経筋難病疾患の患者の看護 パーキンソン病 筋ジストロフィー 重症筋無力症	講義		
13	重症心身障がい 患者の特徴と看護の役割 保健医療の動向	講義		
14	重症心身障がい 看護に求められるもの	講義		
15	重症心身障がい者(児)の看護	講義		
16	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[7]脳・神経 医学書院			
評価方法	筆記試験			

【専門分野Ⅱ】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
成人看護援助論Ⅲ(消化・運動)		1	30	1	1
講師	専任教員・看護師				
	病院における成人看護(運動器)の経験を活かし、講義および演習により教授する。				
講義目的	成人期における消化・運動系の主要疾病を取り上げ、健康の段階に応じた看護・治療・処置に伴う看護を学ぶ。				
時	授業内容	授業方法	備考		
1	消化器疾患患者の特徴と看護の役割 検査(上・下部消化管検査)を受ける患者の看護	講義			
2	胃がん患者の看護(術前看護)	講義			
3	胃がん患者の看護(術後看護)	講義			
4	食道がん患者の看護 胆道疾患患者の看護 膵臓がんの患者の看護	講義			
5	肝硬変患者の看護 肝臓がん患者の看護 消化器がん化学療法を受ける患者の看護	講義			
6	潰瘍性大腸炎患者の看護 クローン病患者の看護 大腸がん患者の看護 手術療法と看護	講義			
7	ストーマ造設術を受ける患者の看護	講義	(45分)		
8	オストメイトへの日常生活援助	演習			
9	運動器疾患患者の特徴と看護の役割	講義			
10	骨折患者の看護 ギプス固定 牽引療法 神経麻痺 循環障害・フォルクマン拘縮	講義			
11	脊柱管狭窄症患者の看護	講義			
12	事例による看護過程の展開	講義			
13	人工膝関節置換術を受ける患者の急性期の看護過程	演習			
14	変形性関節症患者の看護	演習			
15	持続的多動運動(CPM) 体位変換・体転枕 歩行援助(歩行器・松葉杖・T字杖) 装具(コルセット・ネックカラー ニープレス)	演習			
16	終講試験		(45分)		
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[5]消化器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[10]運動器 医学書院 系統看護学講座、別巻 臨床外科看護総論 医学書院 術中／術後の生体反応と急性期看護 医歯薬出版				
評価方法	筆記試験				

【専門分野Ⅱ】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
成人看護援助論Ⅳ(血液・内分泌)	1	30	1	1
講師	専任教員			
	病院における成人看護(血液・内分泌)の経験を活かし、講義および演習により教授する。			
講義目的	成人期における血液・感染・免疫・内分泌器系の主要疾病を取り上げ、健康の段階に応じた看護、治療、処置に伴う看護を学ぶ。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	血液・造血器疾患患者の動向 白血病患者の看護 診断～治療開始まで	講義		
2	白血病患者の看護 急性期 増悪期の看護 終末期の看護	講義		
3	白血病患者の看護 化学療法を受ける患者の看護	講義		
4	白血病患者の看護 造血幹細胞移植を受ける患者の看護	講義		
5	HIV患者の看護	講義		
6	アレルギー性疾患患者の看護	講義		
7	関節リウマチ患者の看護	講義		
8	全身性エリテマトーデス患者の看護	講義	(45分)	
9	内分泌代謝疾患患者の特徴と役割 下垂体疾患患者の看護 甲状腺疾患患者の看護	講義		
10	副甲状腺疾患患者の看護 副腎疾患患者の看護	講義		
11	糖尿病患者の看護	講義		
12	糖尿病患者の看護 食事療法 運動療法 薬物療法を受ける患者の看護	講義		
13	メタボリックシンドローム患者の看護 脂質異常症患者の看護 尿酸代謝異常患者の看護	講義		
14	血統測定、インスリン注射	演習		
15	糖尿病患者への学習支援(指導の実施)	演習		
16	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[4]血液・造血器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[5]内分泌・代謝 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[11]アレルギー・膠原病感染症 医学書院 糖尿病食事療法のための食品交換表 日本糖尿病協会 文光堂			
評価方法	筆記試験			

【専門分野Ⅱ】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
成人看護援助論Ⅴ(腎・泌尿・生殖)	1	30	2	1
講師	専任教員・看護師			
	病院における成人看護の経験を活かし、講義および演習により教授する。			
講義目的	成人期における腎・泌尿・生殖器系の主要疾病を取り上げ、健康の段階に応じた看護、治療・処置に伴う看護を学ぶ。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	腎・泌尿器疾患患者の特徴と看護の役割 腎疾患の診断に必要な検査と看護	講義		
2	急性腎不全患者の看護 慢性腎不全患者の看護 薬物療法 食事療法 透析療法(血液透析・腹膜透析)	講義		
3	腎移植を受ける患者の看護	講義 演習	(45分)	
4	糸球体腎炎患者の看護 腎生検を受ける患者の看護 尿量異常・血尿のある患者の看護 腎腫瘍患者の看護 腎摘出術を受ける患者の看護	講義		
5	慢性腎不全患者の看護過程の展開 シャント造設患者の看護 食事指導	講義		
6	慢性腎不全患者の看護過程の展開 関連図	演習		
7	慢性腎不全患者の看護過程の展開 看護問題	演習		
8	慢性腎不全患者の看護過程の展開 看護計画発表	演習		
9	慢性腎不全患者の看護過程の展開 発表	演習		
10	尿路結石患者の看護 疼痛・排尿障害のある患者の看護 血尿のある患者の看護 体外衝撃波結石破砕術(ESWL)を受ける患者の看護	講義 演習		
11	前立腺肥大症患者の看護 経尿道的前立腺切除術(TUR-P)を受ける患者の看護 前立腺がん患者の看護 ホルモン療法を受ける患者の看護 前立腺全摘出術を受ける患者の看護 膀胱がん患者の看護 膀胱鏡検査を受ける患者の看護 経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-Bt)を受ける患者の看護 膀胱全摘出術及び尿路変更術を受ける患者の看護	講義		
12	女性生殖器疾患患者の特徴と看護の役割 女性生殖器疾患の動向 患者の特徴と看護師の役割 検査・処置をうける患者の看護 診療介助時における看護	講義		
13	女性生殖器疾患をもつ患者の看護 子宮がん患者の看護 子宮筋腫の患者の看護 子宮内膜症の患者の看護	講義		
14	卵巣がん患者の看護 卵巣嚢腫の患者の看護 外陰部・膣疾患のある患者の看護 不妊症患者の看護	講義		
15	乳がん患者の看護	講義		
16	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[8]腎・泌尿器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[9]女性生殖器 医学書院			
評価方法	筆記試験			

【専門分野Ⅱ】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
成人看護演習	1	30	1	1
講師	専任教員・看護師 病院における看護実践の経験を活かし、講義および演習により教授する。			
講義目的	成人期の事例をもとに成人看護活動の実際を学ぶ。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	急性期(周手術期)とは 急性期(周手術期)の看護過程の展開 肺癌で手術を受ける患者の看護	講義		
2	急性期(周手術期)の看護過程の展開 肺癌で手術を受ける患者の看護 術後に起こりうる合併症 看護問題の抽出 看護計画立案	講義 演習		
3	急性期(周手術期)の看護過程の展開 肺癌で手術を受ける患者の看護	講義 演習		
4	急性期(周手術期)の看護過程の展開 肺癌で手術を受ける患者の看護 術後の観察と援助の実施 援助後評価	演習		
5	急性期(周手術期)の看護過程の展開 肺癌で手術を受ける患者の看護 看護計画の修正・追加	講義 演習		
6	終末期とは 終末期の看護過程の展開 肺癌の終末期にある患者の看護	講義 演習		
7	終末期における看護 がん化学療法を受ける患者の看護	講義		
8	終末期における看護 がん性疼痛のある患者の看護 疼痛コントロール	講義		
9	終末期における看護 放射線治療を受ける患者の看護	講義		
10	終末期における看護 緩和ケアとは 緩和ケアの歴史 診断時からの緩和ケア 全人的苦痛	講義		
11	終末期の看護過程の展開 肺癌の終末期にある患者の看護 看護問題の抽出 看護計画の立案	講義 演習		
12	終末期看護過程の展開 肺癌の終末期にある患者の看護 看護計画の立案	講義 演習		
13	終末期看護過程の展開 肺癌の終末期にある患者の看護 看護計画に基づいた看護の実践	講義 演習		
14	終末期看護過程の展開 肺癌の終末期にある患者の看護 看取りのケア エンゼルケア	講義 演習	(45分)	
15	終末期の看護過程の展開 肺癌の終末期にある患者の看護 終末期看取りのケア エンゼルケア	講義 演習		
16	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[2]基礎看護技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[4]臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[2]呼吸器 医学書院 系統別看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院			
評価方法	筆記試験			

【専門分野Ⅱ】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
老年看護学概論	1	15	1	2
講師	専任教員			
	病院における看護実践の経験を活かし、講義および演習により教授する。			
講義目的	老年期にある対象を理解し、健康問題の動向と保健対策の概要を知り、健康の保持・増進・疾病予防など看護の役割を理解する。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	科目の位置づけ 老いる 老いを生きる 老いのイメージ 加齢と老化 老年期とは 老年期の発達課題	講義 演習		
2	老年看護の特徴理解 高齢社会の統計的輪郭 老年看護学の発展 老年看護の役割	講義		
3	高齢者模擬体験	演習		
4	加齢変化と健康上の問題と看護 身体機能の変化 精神機能の変化 社会機能の変化	演習		
5	加齢変化と健康上の問題と看護 身体機能の変化 精神機能の変化 社会機能の変化	演習 講義		
6	高齢社会における保健医療福祉の動向	講義		
7	高齢社会における権利擁護	講義		
8	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾病論 医学書院			
評価方法	筆記試験			

【専門分野Ⅱ】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
老年看護援助論Ⅰ		1	30	2	1
講師	専任教員				
	病院における老年看護の経験を活かし講義および演習により教授する。				
講義目的	高齢者の加齢変化と特徴的な身体症状を学ぶ。また、高齢者の埼玉昨日の観点からアセスメントし、看護を展開する方法を学ぶ。				
時	授業内容	授業方法	備考		
1	高齢者の日常生活を支える基本的活動	講義			
2	高齢者の摂食・嚥下機能のアセスメントと看護ケア 高齢者の食事介助	講義			
3	高齢者の摂食・嚥下機能のアセスメントと看護ケア 高齢者の口腔ケア・義歯の取り扱い	講義			
4	高齢者の口腔ケア・義歯の取扱い	演習			
5	高齢者の排泄ケアの基本	講義			
6	高齢者の排泄援助技術 おむつ交換	演習			
7	高齢者の排泄のアセスメントと看護ケア	講義			
8	高齢者の排泄援助技術 摘便	演習			
9	高齢者の清潔(掻痒感)のアセスメントと看護ケア	講義			
10	高齢者の生活リズム(睡眠)のアセスメントと看護ケア	講義			
11	高齢者の転倒アセスメントと看護ケア	講義			
12	高齢者の廃用症候群(褥瘡)のアセスメントと看護ケア	講義 演習			
13	高齢者のコミュニケーションのアセスメントと看護ケア	講義			
14	高齢者特有のリスク要因とその対応 熱傷 誤嚥 窒息	講義			
15	まとめ	講義	(45分)		
16	終講試験		(45分)		
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 医学書院				
評価方法	筆記試験				

【専門分野Ⅱ】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
老年看護援助論Ⅱ		1	30	2	2
講師	専任教員				
	病院における看護実践の経験を活かし、講義および演習により教授する。				
講義目的	老年期に起こしやすい徴候とその患者への看護を学ぶ。また、高齢者の検査・処置への対応、老年期特有の疾患の看護について学ぶ。				
時	授業内容	授業方法	備考		
1	高齢者の主要な徴候や起こりやすい問題とその看護 意識障害 せん妄	講義			
2	高齢者の主要な徴候や起こりやすい問題とその看護 熱中症 脱水症	講義			
3	高齢者の主要な徴候や起こりやすい問題とその看護 腰背部痛 しびれ	講義			
4	高齢者の主要な徴候や起こりやすい問題とその看護 やせ	講義			
5	高齢者の主要な徴候や起こりやすい問題とその看護 浮腫	講義	(45分)		
6	高齢者の主要な徴候や起こりやすい問題とその看護 睡眠障害	講義			
7	高齢者特有の疾患と検査・治療 高齢者のフィジカルアセスメント 加齢に伴う変化	講義			
8	高齢者特有の疾患と検査・治療 高齢者のフィジカルアセスメント 各系統別フィジカルアセスメント 問診 視診 触診 打診 聴診 血圧測定 画像診断 心電図	講義			
9	高齢者特有の疾患と検査・治療 高齢者のフィジカルアセスメント フィジカルアセスメントの実際	講義			
10	高齢者特有の疾患と検査・治療 治療・処置を受ける高齢者の看護 薬物療法を受ける高齢者の看護 手術療法を受ける高齢者の看護 理学療法を受ける高齢者の看護	講義			
11	高齢者特有の疾患と検査・治療 認知症患者の看護 認知症高齢者の理解 認知症の疫学	講義			
12	高齢者特有の疾患と検査・治療 認知症患者の看護 認知症の病態 診断 治療 予防	講義			
13	高齢者特有の疾患と検査・治療 認知症患者の看護 認知症の分類と症状	講義			
14	高齢者特有の疾患と検査・治療 認知症患者の看護 認知症患者にとっての環境	講義			
15	高齢者特有の疾患と検査・治療 認知症患者の看護 認知症高齢者とのコミュニケーション	講義			
16	終講試験		(45分)		
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 医学書院				
評価方法	筆記試験				

【専門分野Ⅱ】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
老年看護演習	1	15	2	2
講師	専任教員			
	病院における看護実践の経験を活かし、講義および演習により教授する。			
講義目的	高齢者特有の疾病をとりあげ、援助方法を学ぶ。また、生活機能の観点からアセスメントし看護を展開する方法を演習から学ぶ。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	対象を生活機能から理解した看護過程の展開 老年看護の基本と看護過程の考え方 高齢者の生活機能評価	講義		
2	回復期の看護過程の展開 認知症のある大腿骨頸部骨折術後患者の看護	講義		
3	回復期の看護過程の展開 認知症のある大腿骨頸部骨折術後患者の看護 関連図	講義 演習		
4	回復期の看護過程の展開 認知症のある大腿骨頸部骨折術後患者の看護 看護問題抽出	講義 演習		
5	回復期の看護過程の展開 認知症のある大腿骨頸部骨折術後患者の看護 看護計画の立案	講義 演習		
6	回復期の看護過程の展開 認知症のある大腿骨頸部骨折術後患者の看護 看護計画に基づいた看護実践	演習		
7	まとめ	講義		
8	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院			
評価方法	筆記試験			

【専門分野Ⅱ】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
小児看護学概論	1	15	1	2
講師	専任教員			
	病院での小児看護の経験を有する小児看護学領域専門の教員が講義により教授する。			
講義目的	小児期にある対象を理解し保健問題の動向と保健対策の概要を知り、健全な成長発達、健康の保持・増進・疾病予防など看護の機能・役割、そして保育について理解する。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	小児看護の変遷 小児とは 小児の変遷 小児看護における看護の役割 小児看護の機能と役割 小児看護の目標 役割 アプローチ	講義		
2	小児看護の特徴 小児看護の特徴 小児の発達段階区分 成長発達の進み方 子どもの成長発達 子どもの発育 発達評価 発達理論	講義		
3	新生児 乳児 幼児	講義		
4	各期の特徴と健康・保持増進のための看護 学童 思春期 青年期	講義		
5	小児の栄養の特徴と重要性 栄養の意義・発達段階における特徴と看護 小児とその家族への看護 政策と法律について	講義 演習		
6	小児とその家族への看護 接種・子どもと家族を取巻く社会の変化 社会の中の子ども・家族の中の子ども 現代社会における子どもをめぐる諸問題 人口構造 出生率 乳児死亡 周産期死亡等	講義 演習		
7	現代社会における子どもをめぐる諸問題 遊び 食生活 肥満 事故 いじめ 不登校 体罰 虐待 自殺 小児看護における倫理	講義		
8	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1]小児概論／臨床総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2]小児各論 医学書院			
評価方法	筆記試験			

【専門分野Ⅱ】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
小児看護援助論Ⅰ		1	30	1	2
講師	小児科医師				
講義目的	小児期の主要な疾病の病因と特徴・検査・治療を学ぶ。				
時	授業内容	授業方法	備考		
1	疾病の病態と診断治療 染色体異常	講義			
2	疾病の病態と診断治療 内分泌 代謝性疾患	講義			
3	疾病の病態と診断治療 アレルギー性疾患	講義			
4	疾病の病態と診断治療 感染症	講義			
5	疾病の病態と診断治療 呼吸器疾患	講義			
7	疾病の病態と診断治療 循環器疾患	講義			
8	疾病の病態と診断治療 循環器疾患・小児の救急蘇生法	講義	(45分)		
9	疾病の病態と診断治療 消化器疾患	講義			
10	疾病の病態と診断治療 血液 造血器疾患	講義			
11	疾病の病態と診断治療 悪性新生物疾患	講義			
12	疾病の病態と診断治療 腎 泌尿器および生殖器疾患	講義			
13	疾病の病態と診断治療 運動器疾患	講義			
14	疾病の病態と診断治療 運動器疾患	講義			
15	疾病の病態と診断治療 小児におこりやすい事故 熱傷 外傷	講義			
16	終講試験	試験	(45分)		
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1]小児概論／臨床総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2]小児各論 医学書院				
評価方法	筆記試験				

【専門分野Ⅱ】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
小児看護援助論Ⅱ		1	30	1	2
講師	専任教員・看護師				
	小児看護の経験を有し、小児看護学領域を専門とする教員が、講義および演習により教授する。				
講義目的	小児期の健全な成長発達の助長・疾病予防・健康障害からの回復のための家族に対する保健指導を含めた適切な看護を学ぶ。 小児期に特有の疾患をとりあげ、看護過程を学ぶ。				
時	授業内容	授業方法		備考	
1	疾病・障害および入院が小児と家族に与える影響 疾病・障害をもつ小児と家族の看護 各発達段階の病気の理解 小児の健康問題と看護	講義			
2	外来受診や入院を必要とする小児と家族の看護 外来における小児と家族の看護 小児の入院と小児 家族への影響 看護	講義			
3	症状を示す小児の看護 機嫌 啼泣 痛み	講義			
4	症状を示す小児の看護 呼吸困難 発熱(熱性けいれんも含む)	講義			
5	症状を示す小児の看護 消化器症状 水分電解質異常	講義			
7	小児における疾病の経過と看護 慢性期にある小児と家族の看護 急性期にある小児と家族の看護	講義			
8	小児における疾病の経過と看護 周手術期の小児と家族の看護 終末期にある小児と家族の看護	講義			
9	小児と家族に起こりやすい状況と看護 治療処置を受ける小児と家族の看護 救急処置を要する小児と家族の看護 活動制限のある小児と家族の看護	講義			
10	小児と家族に起こりやすい状況と看護 感染予防の必要がある小児と家族の看護 痛みのある小児と家族の看護 障害のある小児と家族の看護 虐待が疑われる小児と家族の看護	講義			
11	肺炎患児の看護過程(幼児期) 疾患の理解とアセスメント	講義			
12	肺炎患児の看護過程の展開 疾患の理解とアセスメント 問題の抽出 看護計画	講義			
13	小児フィジカルアセスメント アセスメント技術 身体測定(身長 体重 胸囲 頭囲) バイタルサイン	講義 演習			
14	看護過程 計画発表	演習			
15	小児の看護過程の特徴	講義		(45分)	
16	終講試験			(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1]小児概論／臨床総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2]小児各論 医学書院				
評価方法	筆記試験				

【専門分野Ⅱ】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
小児看護演習		1	15	2	2
講師	専任教員				
	病院での小児看護の経験を有する小児看護学領域専門の教員が講義・演習により教授する。				
講義目的	健康障害をもつ小児に対して、安全・安楽な看護援助を実施するための基本的な技術を学ぶ。				
時	授業内容		授業方法	備考	
1	小児看護に必要な看護技術 小児看護におけるコミュニケーション 日常生活援助技術 食の援助(発達段階に応じた食形態の選択) 排泄の援助(オムツ交換) 清潔の援助(臀部浴 指間清拭)		講義		
2	日常生活援助 清潔援助、食の援助 経管栄養法 経鼻(経口)胃管栄養法 胃瘻の管理		講義 演習		
3	検査 処置を受ける小児の看護 与薬 経口与薬 坐薬 輸液管理 静脈注射		講義 演習		
4	呼吸管理 体位ドレナージ タッピング 吸入療法 吸引 酸素療法		講義 演習		
5	検体の採取 血液の採取方法と援助 尿 便の採取方法 骨髄穿刺 腰椎穿刺の援助		講義 演習		
6	持続点滴管理 プレパレーション		演習		
7	一次救命処置(PBLS) 小児の救急救命 救急蘇生法の実際		講義		
8	終講試験			(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1]小児概論／臨床総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2]小児各論 医学書院				
評価方法	筆記試験				

【専門分野Ⅱ】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
母性看護学概論		1	15	1	2
講師	専任教員				
	病院での母性看護の経験を有する母性看護学領域専門の教員が講義により教授する。				
講義目的	母性看護の主な概念、女性のライフサイクル各期の特徴、母子を取り巻く社会環境・家族関係、制度を理解し、母性看護の機能と役割を理解する。				
時	授業内容	授業方法	備考		
1	母性とは 母性の身体的特徴 母性の心理社会的特性 家族の機能と発達 セクシャリティ 母性看護とは	講義			
2	人間の性と生殖 性周期と生殖のメカニズム 性反応 ヒトの発生と遺伝的要因	講義			
3	女性のライフサイクルと健康 看護 リプロダクティブヘルスケア 家族計画 性感染症 喫煙 性暴力 DV ヘルスプロモーション	講義			
4	女性のライフサイクルと看護 思春期の健康問題と看護 成熟期の健康問題と看護	講義			
5	女性のライフサイクルと看護 更年期の健康問題と看護 老年期の健康問題と看護	講義			
6	母性看護の変遷・倫理 母性看護の変遷 母性看護と倫理 不妊と生殖補助医療 出生前診断 人工妊娠中絶 ハイリスク児の治療	講義			
7	母性看護と法整備 母子保健水準 母子保健に関する統計 法整備と母子保健施策	講義			
8	終講試験		(45分)		
テキスト	系統看護学講座 母性看護学[1]母性看護学概論 医学書院 系統看護学講座 母性看護学[2] 母性看護学各論 医学書院 国民衛生の動向				
評価方法	筆記試験				

【専門分野Ⅱ】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
母性看護援助論Ⅰ		1	30	2	1
講師	産婦人科医師				
講義目的	妊娠、分娩、産褥期に生じる母体の生理的変化と胎児・新生児の成長発達について理解する。				
時	授業内容	授業方法	備考		
1	出生前からのリプロダクティブヘルスケア 遺伝相談 不妊治療	講義			
2	妊娠期 妊娠の生理 胎児の発育とその生理	講義			
3	妊娠期 母体の生理的変化、妊娠とその診断 妊娠期に行う検査	講義			
4	妊娠期 胎児の発育と健康状態の診断 妊娠期の感染症	講義			
5	分娩期 分娩三要素 分娩の機序	講義			
6	分娩期 分娩の進行(破水含)と産婦の身体的変化 産痛	講義			
7	分娩期 胎児の健康状態(胎児心拍数への影響)	講義			
8	産褥期 退行性変化 進行性変化	講義			
9	産褥期 心理的変化(母親役割適応過程含)	講義			
10	新生児期 新生児の定義 新生児の生理:呼吸 循環 体温	講義			
11	新生児期 新生児の生理 消化 吸収 生理的体重減少 生理的黄疸 免疫 皮膚 反射	講義			
12	妊娠経過の異常 妊娠悪阻 切迫流産 妊娠高血圧症候群 妊娠糖尿病 胎状奇胎 子宮外妊娠 合併妊娠 心疾患 糖尿病 甲状腺 婦人科疾患 血液型不適合妊娠 多胎妊娠	講義			
13	分娩経過の異常と処置 分娩遷延 胎児仮死 分娩時異常出血 帝王切開分娩 吸引分娩	講義			
14	産褥経過の異常 子宮復古不全 産褥の発熱 乳房乳首のトラブル 精神障害	講義			
15	新生児の異常と治療 新生児仮死 分娩外傷 高ビリルビン血症 低出生時体重	講義	(45分)		
16	終講試験		(45分)		
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[1] 母性看護学概論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[2] 母性看護学各論 医学書院				
評価方法	筆記試験				

【専門分野Ⅱ】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
母性看護援助論Ⅱ		1	30	2	1
講師	助産師				
講義目的	妊娠、分娩、産褥各期における正常・異常および新生児への援助のあり方について学ぶ。				
時	授業内容	授業方法	備考		
1	妊娠 妊婦と胎児の経過の診断とアセスメント 妊婦健康診査 基礎的情報 産科的診察法 胎児の発育 健康状態のアセスメント	講義			
2	妊娠期 妊婦と胎児の経過の診断とアセスメント 妊婦の健康状態 不快症状のアセスメント 妊婦の日常生活に関するアセスメント	講義			
3	妊娠期 保健指導の実際	講義			
4	妊娠期 心理・社会的特性 親になるための準備教育 母子保健サービス	講義			
5	分娩期 産婦 胎児のアセスメント 基礎的情報 分娩経過のアセスメント	講義			
6	分娩期 基本的ニーズに関するアセスメントとケア	講義			
7	分娩期 安全な分娩への看護 産婦の心理・社会的変化 家族発達を促す看護	講義			
8	分娩期 帝王切開術後の看護	講義			
9	産褥期 退行性変化の経日的変化の観察と促進ケア 進行性変化の経日的変化の観察	講義			
10	産褥期 母乳栄養確立への援助	講義			
11	産褥期 褥婦の生活パターンとセルフケア 保健指導	講義			
12	産褥期 褥婦の心理 社会的変化 親役割適応過程 特殊な状態にある褥婦の看護 母子分離 マタニティブルー	講義			
13	新生児 子宮外生活適応過程と看護、新生児の計測	講義			
14	新生児 生理的体重減少と看護 生理的黄疸と看護	講義			
15	新生児 生後1ヶ月健康診査に向けた退院時の看護	講義	(45分)		
16	終講試験		(45分)		
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[1] 母性看護学概論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[2] 母性看護学各論 医学書院				
評価方法	筆記試験				

【専門分野Ⅱ】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
母性看護演習		1	15	2	2
講師	専任教員				
	病院での母性看護の経験を有する母性看護学領域専門の教員が講義演習により教授する。				
講義目的	母性看護に必要な援助技術を習得する。				
時	授業内容	授業方法	備考		
1	妊娠・分娩・新生児期の観察技術 妊娠期の看護 妊婦健康診査の目的と診査項目 妊婦・胎児の観察技術 レオポルド触診 腹囲・子宮底長測定 児心音聴取 乳房 浮腫 分娩期の看護 陣痛(発作・間歇・周期)の観察 産痛緩和の技術 産褥期の看護 子宮復古状態の観察 乳房の観察と手当 新生児期の看護 新生児看護の原則	講義			
2	妊娠・分娩・新生児期の観察技術 妊婦健診のデモンストレーション 陣痛の観察 子宮復古状態の観察 乳房の観察	演習			
3	新生児期の観察技術 新生児の抱き方 コットでの移送 環境整備 身体計測 新生児の全身の観察	演習			
4	新生児の援助技術 オムツ交換 更衣 沐浴	演習			
5	産褥および新生児期の看護過程 新生児期のアセスメントと看護の方向性 出生直後 出生24時間以内 出生24時間以降	演習			
6	産褥および新生児期の看護過程 産褥期のアセスメントと看護の方向性 産褥2日目	演習			
7	産褥および新生児期の看護過程 産褥・新生児期の看護の統合 母子を一体として捉え、看護の統合を考える	演習			
8	終講試験		(45分)		
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[1]母性看護学概論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[2]母性看護学各論 医学書院				
評価方法	筆記試験				

【専門分野Ⅱ】

講義科目名		単位	時間数	配当年次	学期
精神看護学概論		1	15	2	1
講師	看護師				
講義目的	心の健康に焦点を当て、心の発達、心の動き、社会問題、制度について理解し、精神看護の機能と役割を理解する。対象の不適応状況を予防し、心の健康増進を図ることを学ぶ。				
時	授業内容	授業方法	備考		
1	精神機能 心の障害 現代社会と心のケア 精神看護学とは	講義			
2	回復の考え方 当事者の体験 精神科医療の歴史	講義			
3	精神保健医療福祉の歴史 障害と権利について 精神障害と法制度	講義			
4	人間の心の働き 心のしくみ 意識と認知機能 感情 学習と労働	講義			
5	精神症状の理解とアセスメント 思考 感情	講義			
6	精神症状の理解とアセスメント 感情 意欲 知覚 意識	講義			
7	思考・心の健康を保つために 認知療法の紹介	講義			
8	終講試験		(45分)		
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1] 精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[2] 精神看護の基礎 医学書院 パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護 昭林社				
評価方法	筆記試験				

【専門分野Ⅱ】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
精神看護援助論Ⅰ	1	30	2	1
講師	精神科医師・精神保健福祉士			
講義目的	主要な精神疾患の発症、経過、病状、治療および予後について理解する。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	障がいとは何か ICIDHとICFから医学モデルでなく社会モデルで考える	講義		
2	精神の健康とは何か ストレスのメカニズムとストレスの適応について	講義		
3	患者の思いに近づくための方法 コミュニケーションの基礎を学ぶ	講義		
4	精神疾患の種類と対応 統合失調症	講義		
5	精神疾患の種類と対応 気分障害	講義		
6	社会的入院の原因とその解消を目指して	講義		
7	地域精神保健活動と当事者の思いを知る	講義		
8	精神科医療の現状 入院形態 思考の異常	講義		
9	妄想 感情 意欲	講義		
10	意志 知覚 幻覚	講義		
11	意識 記憶 失語 失行 失認 精神保健福祉法	講義		
12	疾患の理解 統合失調症 気分障害	講義		
13	疾患の理解 神経症 心因反応 器質性精神障害	講義		
14	疾患の理解 認知症 てんかん 児童・思春期の精神障害 薬物関連性精神障害 アルコール依存	講義		
15	薬物療法	講義	(45分)	
16	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1] 精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[2] 精神看護の基礎 医学書院 パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護 昭林社			
評価方法	筆記試験			

【専門分野Ⅱ】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
精神看護援助論Ⅱ	1	30	2	1
講師	看護師			
講義目的	精神を病む人への看護の基本を理解する。検査・治療・リハビリテーションにおける看護実践を理解する。精神保健医療福祉の法制度と社会資源の活用の実際を理解する。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	精神科看護の基本と実践 精神看護の役割 人間関係論 セルフケア理論 ストレングスモデル エンパワメント	講義		
2	精神看護の基本と実践 コンサルテーション 看護管理 リスクマネジメント 事故防止と対応	講義		
3	精神看護の基本と実践 訪問看護 検査と実践	講義		
4	精神科看護の実践 治療を受ける患者への看護 身体療法	講義		
5	精神科看護の実践 治療を受ける患者への看護 精神療法 行動療法 環境療法	講義		
6	精神を病む人への看護の基本 日常生活援助	講義		
7	精神を病む人への看護の基本 コミュニケーション技法 プロセスレコード	講義		
8	精神障害と法制度 法制度の変遷を通して精神障害者への理解を深める	講義		
9	精神保健で精神障害者福祉に関する法律	講義		
10	精神保健で精神障害者福祉に関する法律 法律制度における課題	講義		
11	地域における精神保健と精神看護 精神障害を持ちながら地域で暮らす人を支える	講義		
12	地域における精神保健と精神看護 一般就労に向けての支援	講義		
13	学校における精神保健と精神看護 ストレスチェック体験 職場における精神保健と精神看護	講義		
14	全体としての家族 家族の多様性 治療的關係と家族	講義		
15	人間と集団	講義	(45分)	
16	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1] 精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[2] 精神看護の基礎 医学書院 パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護 昭林社			
評価方法	筆記試験			

【専門分野Ⅱ】

講義科目名	単位	時間数	配当年次	学期
精神看護演習	1	15	2	2
講師	看護師			
講義目的	援助関係の構築の実際を学ぶ。 看護過程の展開を通して、対象の自立への援助方法を学ぶ。			
時	授業内容	授業方法	備考	
1	セルフケア理論による看護過程の考え方と展開	講義		
2	セルフケア理論による看護過程の考え方と展開 事例展開・セルフケア査定評価	講義		
3	統合失調症 急性期状態にある対象への看護過程の展開	講義		
4	統合失調症 慢性期状態にある対象への看護過程の展開	講義		
5	気分障害 抑うつ状態にある対象者への看護過程の事例展開	講義	(45分)	
6	援助技法 プロセスレコードの実際	講義		
7	精神を病む人への看護の基本・演習 コミュニケーション技法	講義		
8	精神科看護の基本 患者さんの強みを見つけ出すためのコミュニケーションスキル	講義	(45分)	
9	終講試験		(45分)	
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1] 精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[2] 精神看護の基礎 医学書院 パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護 昭林社			
評価方法	筆記試験			